

# むらの 話 題



地域の話題をお待ちしています  
(広報係 ☎ 885-0340 内線205)

## 食生活改善推進連絡協議会 「30周年記念式典」開催

4月23日、美浦村食生活改善推進連絡協議会が今年で発足30周年を迎えることを記念して、美浦村保健センターにおいて「30周年記念式典」が開催されました。

当協議会の活動は、昭和59年の第1回食生活改善推進員養成講座から始まり、現在は村内のイベント等で健康的な食事の普及活動を行ったり、村内の学校に赴いて子どもたちへの食の授業を行う等、食事の面から村の健康づくりに貢献されており、今後ますますのご活躍が期待されます。

※30周年を記念して「活動記録集」が発行されました。保健センター内に設置してありますので、ご自由にご覧ください。



## 消防学校で新入団員初訓練

5月11日、茨城町の県立消防学校で、消防団の新入団員を対象とした「消防学校日曜講座」が開講されました。

今年は村内各分団から10名の新入団員が参加し、規律・器具操法・注水等、消防活動の基本的な動作や操作について厳しい訓練を受けました。

新入団員の皆さんは、初めての規律訓練や機器の使用方法等の指導を受け、自然と真剣な表情になっていました。新入団員の皆さん、美浦村の各地域の安全をよろしくお願いします。



## 今年も始まりました みほ文化講座



毎年好評をいただいている「みほ文化講座」が、今年も始まりました。4月に各講座の受講生を募集した結果、172名の方々の参加により、3つの短期講座を含めた17講座が開講されました。

各講座の受講生の皆さんは、先生の指導を受けながらそれぞれの講座を楽しまれているようでした。

## 区長・副区長 会議を開催

4月20日、中央公民館にて平成26年度の区長・副区長会議が開催され、各地区の区長さん・副区長さんに、村長から委嘱状が交付されました。

また、会議に引き続き区長会総会が開催され、平成26年度の役員さんが選ばれました。

地区の代表である区長さんは、地域と行政が一体となった活力ある住みよい村づくりに向けて、住民と行政をつなぐパイプ役となつてご活躍ください。56名の区長さん・59名の副区長さん、一年間よろしく申し上げます。

### 《平成26年度区長会役員》

会 長	渡邊 利男
副 会 長	石引 晃
” ”	松浦 幸信
菅原 貞季	



# ボランティアによる霞ヶ浦清掃活動が実施されました

5月11日、大山地区にある防災拠点を主催会場として、第36回霞ヶ浦クリーン大作戦「53P i c k U p !」(主催：NPO法人水辺基盤協会)が美浦村の霞ヶ浦沿岸のほぼ全域で実施されました。

会場には、村内外からNPO法人水辺基盤協会の活動のひとつである水辺清掃活動に賛同した196名のボランティアが参集し、五月晴れの好天のもと、午前9時から霞ヶ浦沿岸の堤防を歩いたり車で移動しながら、ゴミや廃棄物を見つけては拾い集めていました。その中には家族連れの様も多く見られ、大人も子供も霞ヶ浦をきれいにしようと真剣に清掃活動をされていました。

回収されたゴミは主催会場に集められ、その量は主催者が用意した廃棄物回収ユニットが満杯になるほどで、清掃活動終了後のボランティアの皆さんはみんなすがすがしい表情をされて、協会が用意したイベントを楽しんでいました。

美浦村にいらっしゃったボランティアの皆さん、そして運営に携わった主催者・関係者の皆さん、ありがとうございました。



## 文化財センターから

### NHKが生中継

5月7日、NHK水戸放送局の番組「ニュースワイド茨城」の中のコーナー「44市町村中継みんなで！いばらナイト」で美浦村が取り上げられ、村文化財センターから生中継で放送されました。

この番組は、茨城県44市町村の魅力を再発見しようと毎週いづれかの市町村から生中継しているもので、今回は美浦村が取り上げられました。日本考古学発祥の地である陸平貝塚を紹介した後、文化財センターを拠点に活動する「陸平をヨイシヨする会」の皆さんが手作りの縄文服を身にまとい、言葉と表情でいきいきと陸平貝塚の魅力を伝えていました。普段の活動の成果が発揮され、存分に「いばら」ことができたのではないのでしょうか。これを機に、陸平貝塚で太古に思いを馳せてみませんか。



## みほ文芸

正調俚謡 日和吟社題「初・夏」一字以上詠み込み有季無季随意

夏に着替えるマネキンモデル春を半値で脱ぎ捨てる  
飯塚筑風  
男子誕生知らせる鯉が家紋背負わされ初泳ぎ  
山崎笑子  
何を買おうかあれこれ迷う親に感謝の初任給  
石戸律華  
霞浦の柳と青田の上を流ればくる初夏の顔  
塚本夏雲  
車椅子おす看護婦さんの背にやさしい初夏の風  
下村松陽  
妻が自慢の筍飯に添えて出てくる初鯉  
高橋一步  
右手骨折左手使い文字を書くのも初体験  
田島草実  
初夏の日の出が田に張る水に写り輝く田植え前  
磯西涼香  
日々の辛抱苦勞を忘れ夫と安らぐ初夏の旅  
伊藤葉子  
緑まばゆい希望に満ちた初の出勤新天地  
小蘭江久美  
移る季節も春から夏へ水辺里山初夏の花  
渡辺希代  
初夏のひととき年齢等忘れ浸る爽やか美人の湯  
本橋清湖  
故郷に住めない悔しさ辛さ見えぬセシウム夏灯台  
長谷川悦子  
泣くな生きると励ますように新芽飛び出す初夏の柿  
沼寄朋香  
孫の泣き声笑った声が響く家中初夏の昼  
門脇悠美  
V字サインの夏雲浮かび子等の夢乗せ流れゆく  
上野八千代

### 五月の俳句(題 当季雑詠)

亀鳴くや独り暮らしも板につく  
青野安佐子  
風薫る茶釜に手足なかりけり  
石毛恵美子  
畑の辺に忘れられたる菝の花  
伊藤八千帆  
母になき歳月を生き更衣  
岡野洋子  
静かなる雨青春を別れゆく  
木澤はしめ  
幼な子の尻の青きと菖蒲風呂  
高柳幸子  
荒れ目立つ里山櫻の芽吹きけり  
田島早苗  
薫風や縄文の森賑はへり  
中島輝子  
神仏の加護を総身に老いの春  
松葉よしひ  
朝霞筑波背伸びし何眺む  
松本秀子  
足早に老いの自覚や牡丹散る  
宮崎さみ枝  
風はらみ恋のカップル鯉職  
矢原はつひ

(五十音順)

青野安佐子  
石毛恵美子  
伊藤八千帆  
岡野洋子  
木澤はしめ  
高柳幸子  
田島早苗  
中島輝子  
松葉よしひ  
松本秀子  
宮崎さみ枝  
矢原はつひ